

■ おいわけ
追分ナシの元祖

海山 徳治郎

うみやま とくじろう

出身地 潟上市（旧天王町）

1877年（明治10年）～1933年（昭和8年）

いしかわり き の すけ
石川理紀之助や農事試験場技師島田五郎の助言を受
け、おいわけ さきゅう かいたく
追分の砂丘を開拓。虫害や干害と闘いなが
ら、さいばい ちょうじゅうろう
ナシとブドウの栽培に成功。「長十郎」種は
ゆうしゅうひん
全国的に優秀品と評価された。



年譜

- 1877年 潟上市（旧天王町）に生まれる。
- 1903年 いしかわり き の すけ さきゅう ち かいたく
石川理紀之助の教えを受け、砂丘地を開拓。
ちょうじゅうろう さいばい
「長十郎」などの和ナシの栽培を始める。
- 1916年 おいわけ
追分園芸会を組織。
はん ろ かくちよう
技術や経営の研究、販路の拡張をはかる。
- 1918年 ちょうじゅうろう
長十郎は北海道、関東方面にも移出、知名度が高まる。
- 1922年 さいばい むずか
ブドウ栽培に取り組む。後に、寒地では難しいと言われ
こうしゅうしゅ なえ
る甲州種の苗を植え付け成功。
- 1933年 てんのう ぼつ さい
潟上市（旧天王町）で没。56歳。